

# 非常時の取水方法

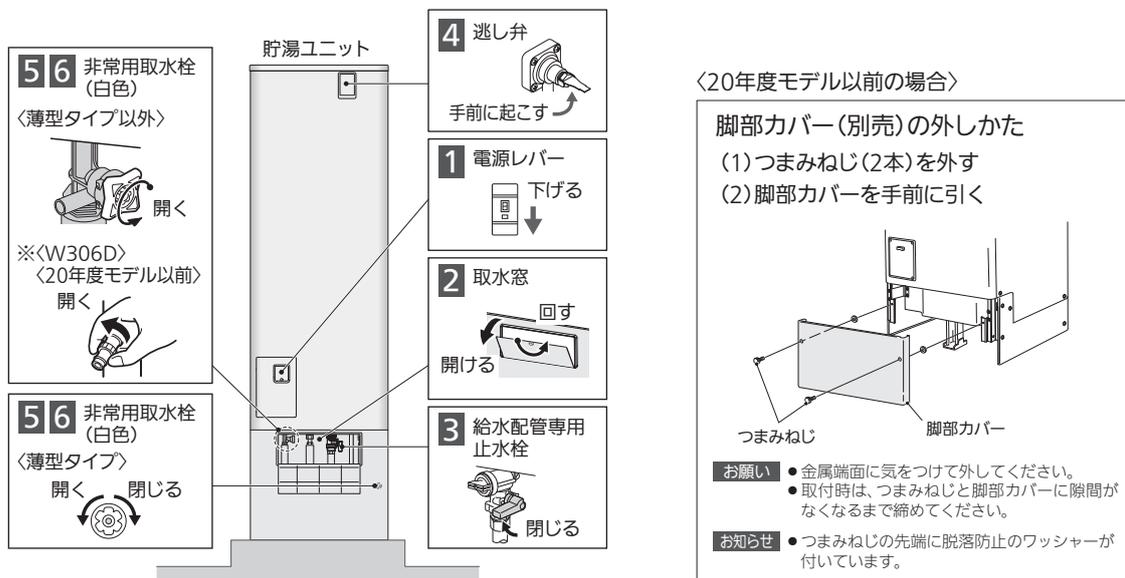
タンクの水(お湯)を生活用水として利用できます。

※薄型タイプの非常用取水ホースは、取扱説明書等と一緒に同梱されています。



## 警告

- 停電時の給湯は、必ず指先などで湯温を確認する(やけどの原因)
- 給湯(取水)・排水時は、熱湯が出ることもあるのでお湯に触らない(やけどの原因)



1

### 電源レバーを下げ、「切」にする

- 電気の供給を停止します。

2

### 脚部カバーの取水窓を開ける

- ※取水窓が無い場合は、脚部カバーを外す
- ※脚部カバーが無い場合は、**3**へ進む

3

### 給水配管専用止水栓を閉じる

- 貯湯ユニットへの給水を止めます。

4

### 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす

- タンクへ空気を取り入れます。

5

〈薄型タイプ以外〉

### 非常用取水栓(白色)を開く(2回転~2回転半で全開)

- ※W306Dの場合、1回転~1回転半で全開

〈薄型タイプ〉

### 同梱の非常用取水ホースを取り付け、非常用取水栓(白色)を開く

- タンクの水(お湯)を取り出します。バケツなどで受けます。

〈薄型タイプ〉



〈取水が終わったら〉

6

### 非常用取水栓を閉じ、手順2で開けた取水窓を閉める

- ※脚部カバーを外していた場合は、取り付ける

#### お願い

- 再び使用するときは、「使いはじめ(準備)」の手順にしたがってください。必ず機器を満水してからご使用ください。
- 初めての操作時や長期間操作していない場合はハンドルが回りにくい場合があります。操作時はケガ等に注意してください。

#### お知らせ

- 非常用取水栓(白色)は、ヒートポンプ配管用水抜き栓と兼用です。(薄型タイプ除く)

※本方法はSRT-P376UBを例にしています。

※非常時の取水方法は、給湯機正面のラベルでも確認できます。

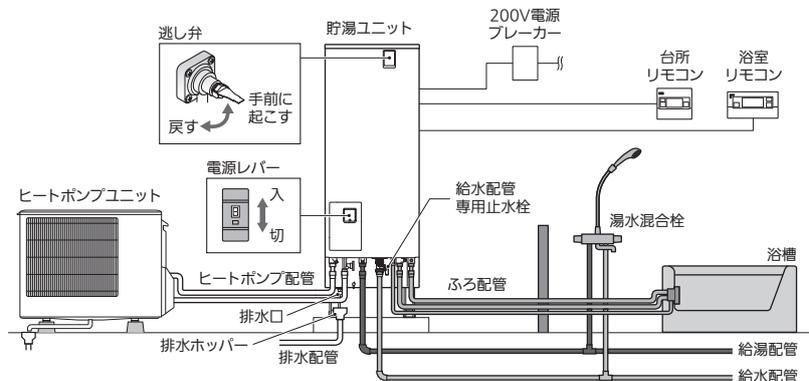
# 使いはじめ(準備)

タンクの水を抜いた後は、次の手順で給湯機の使用を再開します。また、タンクの水を抜かず1ヵ月以上お湯を使わなかった場合は、給湯機の水を抜いてから次の手順を実施ください。

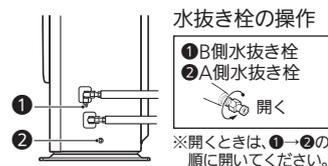
※給湯機を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店(販売店)へご相談ください。当社修理窓口にご依頼いただくことも可能です。(有料)  
 ※必ず満水にしてから電源を入れてください。故障の原因となります。

※入居時など、タンクが満水かどうか知りたい場合は、給水配管専用止水栓を開き、逃し弁のレバーを手前に起こしたり戻したりして、排水口から多量の水が出るか確認してください。  
 ※不使用期間がわからない場合は、給湯機の水を抜いてから次の手順を実施してください。

**逃し弁、電源レバー取付位置** □タイプで説明しています。配管、水抜き栓の有無は機種により異なります。



## 水抜き栓の取付位置 ヒートポンプユニット

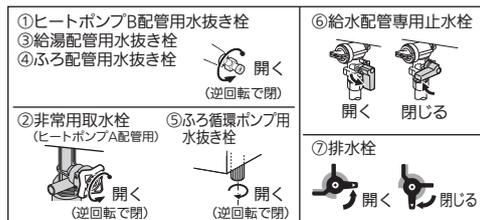
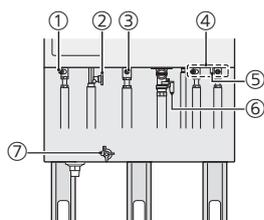


## 水抜き栓、非常用取水栓、給水配管専用止水栓、排水栓の取付位置

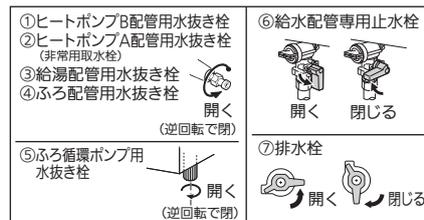
### 貯湯ユニット

図は22年度モデルで説明しています。

### <22年度モデル>



### <20年度モデル以前>



## 1 以下のことを確認する

- 貯湯ユニットの電源レバー：「切」
  - 貯湯ユニットとヒートポンプユニットの水抜き栓、非常用取水栓、排水栓、給水ストレーナ：「閉」
  - すべての蛇口(湯水混合栓)：「閉」
- お願い** ● 満水になるまで蛇口(湯水混合栓)は開けないでください。故障の原因となります。

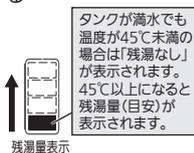
## 2 機器を満水にする

- (1) 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
- (2) 給水配管専用止水栓を開き、貯湯ユニットへ給水する
  - 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。
  - 給湯配管に止水栓が取り付けられている場合は、開いていることを確認してください。
- (3) 貯湯ユニットの排水口から水が出ると満水の合図です。満水までの目安：約30分(コンパクトタイプは約10分)
  - 排水口がよく見えない場合は、流水音で確認してください。
  - 水がタンクに入らない場合は、次の手順で電源を入れ直してください。
    - ① 200V電源ブレーカーと電源レバーを「入」にする
    - ② 約30秒後、電源レバーと200V電源ブレーカーを「切」にする
- (4) 満水確認後、逃し弁のレバーを戻す(排水が止まります)

## 3 満水を確認後、電源を入れる

- (1) 200V電源ブレーカーを「入」にする
- (2) 電源レバーを上げ、「入」にする

- 電源を入れると、昼間でもわき上げを開始します。
- お湯の増加とともに残湯量表示が増加します。最初は「残湯なし」が表示されます。



## 4 機器のエア抜き運転をする

### (1) 台所リモコンの選択スイッチ

「▲」「▼」を同時に3秒以上押す



- エア抜き運転中は、台所リモコンに「エア抜き」が表示されます。約10分後に自動で停止します。
  - タンクが満水になる前にエア抜きをすると、30分程度かかる場合があります。
  - 同手順(「▲」「▼」同時3秒押し)で、エア抜きを終了できます。
  - 初期のみ、電源を入れる(3項)と、自動でエア抜きします。
- (2) エア抜き終了後、タンク上部のエアを抜くため、逃し弁のレバーを約1分前手に起こす(1分後、レバーを戻す)

## 5 リモコンの日時を確認する

- 他の設定も工場出荷時に戻っていることがあるため、確認してください。
- 初めてご使用の場合は電力契約モードを確認して、ご契約の内容に合わせてください。

## 6 お湯を使う

- 約8時間で満タンまでわき上がります。
- 湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にして給湯を開始し、適温に調整してください。(やけど防止)

**警告**

使いはじめは、しばらくお湯に触れない(やけどの原因)

特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散ることがあります。

※本方法はSRT-P376UBを例にしています。